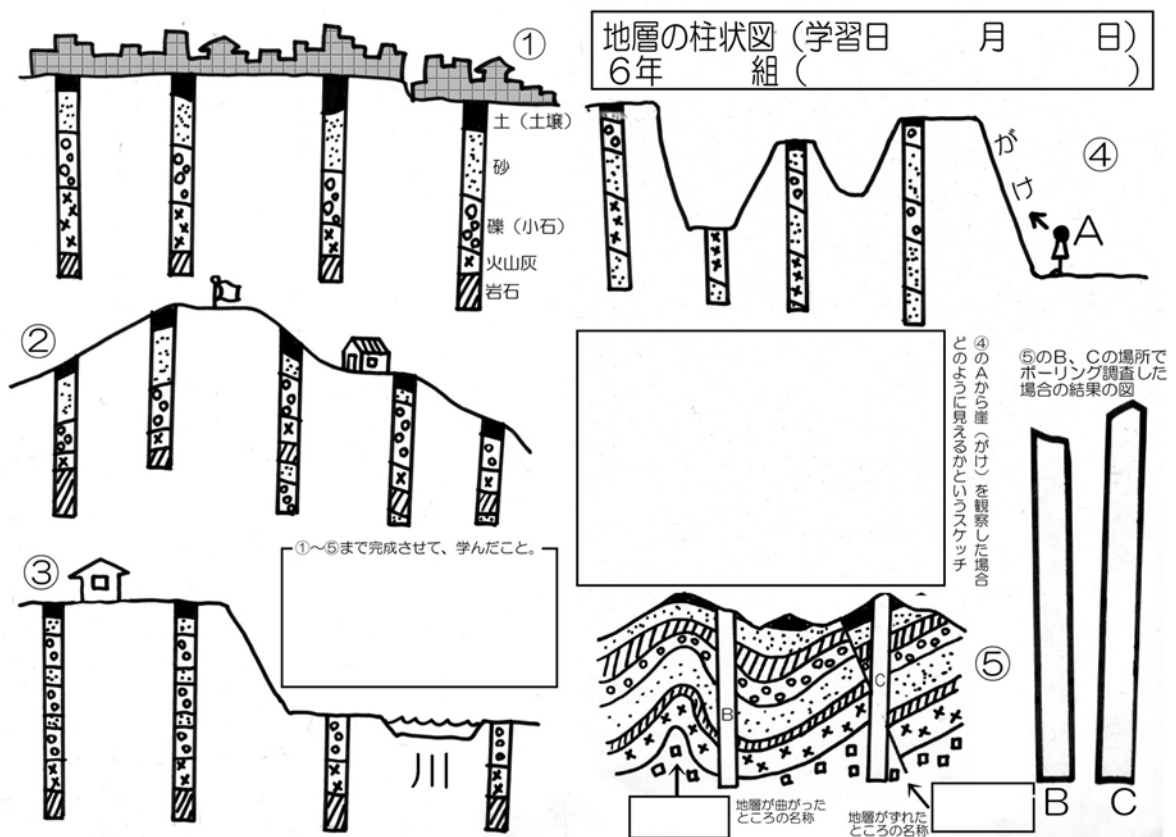


## 「地層の柱状図ワークシート」

先日、同僚の出張で私が担当していない6年クラスの補教があったので、自習ができるように、ワークシートを作りました。地層の柱状図から、実際の層序の様子を推理して描くという内容です。足元の地面の下にある地層を観察するには、土地を一刀両断して横から見るのが一番いい方法です。しかしそれをすると、首都消滅の危険があります。そこで一部分だけを掘って、地層の縦の構造(層序)を推定するわけです。その数か所のボーリング調査の結果を、深度二次元的に表現したのが「柱状図」です。(深度と広がりと同時に表現した、三次元的な柱状図というのもあります。)

あくまで「自習用」に簡単な内容のものを作ろうと思ったのですが、つい理科教師根性が出てしまい、1時間授業では全く終わらない、超難問になってしまいました。



### 「柱状図のワークシート」(本来は自習用)

①→⑤とだんだん難しくなります。実際の地層では、このようにきれいな層序にはなりません。実は少々急いで作ったので、何か所か誤りがあります。それをちゃんと発見した子もいて、すばらしいと思いました。

6年生になると、塾通いをしている子が多いので、こんなものバカにしてテキストにやるとしたら大間違いでした。全員、目の色を変えて、非常に真剣に取り組んでいました。

むずかしい問題は、研究所(班)で相談しながら、あーだこーだ言いながら取り組んでいました。しかし、すべては地下のできごと。推測で取り組む以外に方法はありません。それは、実際の地質調査の現場でも同じことが言えます。